

## S. S. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

大学1年の後期あたりから海外の大学で学びたいと思うようになり、協定大学留学制度を知ったことがきっかけで半年留学を決意しました。私は英文学に興味があり、また一度イギリスを訪れたことがあり魅力的だったため、留学先としてイギリス以外の国は考えていませんでした。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

IELTS の対策に力を入れていました。問題集と単語帳を買って、ひたすら毎日勉強しました。私の場合は AES コースを受講していたこともあり、学外での対策は参考書のみで対応できました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

##### ◆ 語学学習法

IELTS の勉強は留学直前まで続けました。また、春学期はできる限り英語で行われている授業を履修して、課題や授業中などに英語を使う機会を増やしていました。そのほかにも、英語の小説を毎日読んでいました。また、私は英語のアクセントに興味があるので、留学先の Yorkshire や個人的に興味のある Birmingham、また Irish などのアクセントを動画や映画を見て学んでいました。（留学中に旅行へ行った際、役に立ったと思います）

##### ◆ ビザ申請方法

留学は6か月以内だったのでビザの申請は必要ありませんでした。

##### ◆ その他

寮で使う寝具を大学推奨のサイトで購入・寮に送ってもらいました。ただし、約4日遅れて届いたことや少し値段が高かったことを考慮すると、わざわざ事前に購入する必要もないのではないかと思います。

#### ④ 現地到着後

##### ◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

オランダ航空を使ってリーズ空港まで飛びました（アムステルダムで乗り換え）。合計約20時間かかり、大移動でかなり疲れました。リーズ空港から1日目に宿泊するホテルまではタクシーを使いました。

◆ **現地でのオリエンテーション期間中にしたこと**

生活必需品を揃えるのが大変でした。シティセンターにある MORRISONS や、少し離れているけれども安い ALDI に毎日のように行っていました。また、この期間に大学サークルの GIAG（お試しのようなもの）にできるだけ多く参加して、知り合いを増やしていました。

◆ **その他必要な諸手続き方法**

半年留学だったため、現地の口座は開設しませんでした。現地での支払いはほとんどがクレジットカードです。気をつけていただきたいのがオンライン支払で、電話番号を使って2段階認証を導入している日本のクレジットカードが多いと思いますが、Sim カードを入れ替えると電話番号が変わるので、SMS コードが受信できなくなることがあります。私の場合それで苦労し、最終的には PayPal で対応していました。そのため留学前に、使っているクレジットカードの認証方法を確認しておくことをおすすめします。

⑤ **語学研修期間**

なし

⑥ **正規科目履修期間**

◆ **大学の施設・環境について**

キャンパスはかなり広いです。しかしグーグルマップを見れば迷うことはほとんどありませんでした。私のお気に入りの場所は Edward Boyle Library という図書館で、集中できる環境なので最終課題の前にはよく行って勉強していました。

◆ **履修科目**

・EDUC2080 **Practice of English Language Teaching**

この授業では、第二言語としての英語をどのように効果的に教えるのかを、様々な文献を通して学びました。また、学期末にはグループごとに実際にクラスの前で模擬授業を行うというかなり実践的な授業でした。最終課題では、その模擬授業についての分析・考察をエッセイで提出しました。（3000 words）

・ELU2010 **Language Through Literature and Place: Reading Yorkshire**

この授業はヨークシャーに関係する文学作品や著者を研究する授業で、興味があり履修しました。留学生向けの授業だからか履修人数はかなり少なく、クラス内で意見交換をする機会が多かったのでスピーキングは非常に向上したと思います。また人数が少ない分しっかりと予習していかないと簡単に置いていかれます。授業では文学作品から抜粋した複数のシーンを研究するのですが、物語の詳細が分かっていると理解できないことが多かった

です。そのため、授業外で作品を読んだり解説の動画と見たりと、課題以外にも主体的に学ぶことが多かったのでかなり勉強になりました。最終課題はエッセイ（1000 words）と Creative Presentation（15 min）でした。

・MUSS1824 **Film Music: From Text to Interpretation**

この授業は、映画の中でサウンドトラックがどのように使われているのかを研究する授業で、私は元々映画が好きだったので履修しました。内容はかなり面白く、学期が終わるころには映画音楽にも興味を持つようになりました。映画に使われている音楽の特徴を時代背景から学ぶのですが、各回で有名な映画のサウンドトラックを授業内で聞いて分析するのが楽しかったです。最終課題は、自分で選んだ映画作品から 2 シーンを選び、使われている音楽を比較・研究しました。（2500 words）

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

クラブには特に所属していませんでしたが、自身がキリスト教徒なので毎週日曜日には教会に行っていました。最初に訪れた教会である素敵なお夫婦と出会い、礼拝後のお昼ご飯やクリスマスランチをその方の家に招待していただきました。最後までお世話になり感謝してもしきれません。自分に合った教会を探すのに時間がかかりましたが、現地の方と交流する機会を多く持てたので、大変良い経験になりました。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

◆ **語学研修期間**

なし

◆ **正規科目履修期間**

私は Montague Burton Residences という寮に住んでいました。大学からは歩いて約 5 分とかなり便利な場所にありました。この寮ではキッチン・リビング・トイレ・バスルームは共有ですが、特に困ったことはありませんでした。むしろ、キッチンに洗濯機と乾燥機が付いていることや価格帯を考慮すれば、かなりコスパが良く住みやすい寮だったと思います。食事は自炊をしていました。また個人的にこの寮の好きだったポイントとして、他の寮のようにマンションになっているのではなくブロックに分かれていたので、家のように安心する雰囲気でした。私のフラットは 4 人で（この寮では基本的に 4 人か 9 人のフラット）、フラットメイトはドイツ人とオーストラリア人 2 人でした。全員とても優しくいい人達ばかりで、大変楽しい時間を過ごすことができました。騒音問題なども特になく、かなり恵まれたフラットだったと思います。

### ⑨ 長期休暇の過ごし方

クリスマス休暇にはロンドンとバーミンガムに観光旅行に行きました。また、帰国前にはアイルランド（ダブリン・ヨーク）とフランス（パリ）にも行きました。

### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特にしていません。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

今思えば全てがよい思い出です（笑）。その中でも、クラスで仲が良く、同じ寮に住んでいたチリ人の友達と一緒に買い物に行ったり、私の誕生日パーティーをしたり、またパブでお酒を飲みながらお互いの国について話したことが思い出です。また、フラットメイトとキッチンで話したり映画を見に行ったりと、何気ない日常が心地良かったです。他にも、隣のブロックに住んでいる仲のいい友達とその子のフラットメイトと一緒に、毎週のように晩御飯を食べてお喋りしていました。また、12 月半ばぐらいで寮が閑散としてフラットで一人だった時に、友達を呼んでカラオケ大会をした時は本当に楽しかったです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

ハプニングは多かったです、その中でも帰国 1 週間前からインフルエンザにかかった時はかなりしんどかったです。発症 3 日目からフランス旅行の予定だったので LEMSIP を飲み、何とか熱を下げてフランスに移動しましたが、高熱・嘔吐・栄養失調が重なって倒れてしまい、現地で救急車にて病院に運ばれました（笑）。1 人で旅行をしていたので、言語が違う中でホテルの人に事情を説明したり、病院の手続きなどをしたりしなければいけなかったのが大変でした。実はフランス旅行の 1 週間前にアイルランドに行っていたのですが、嵐のせいでリーズ行きの飛行機が遅延し、ダブリン空港で 20 時間以上待たされたので（おそらくそこでウイルスをもらった）その時からかなり疲労はたまっていました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

お酒の文化が違うなと感じました。週末には Otley Run というパブの飲み歩きがあり、学生が様々なテーマのコスチュームを着て夜の街に繰り出していました。またクリスマスになると移動式遊園地やマーケットが開き、町全体が賑やかになり楽しかったです。あとは、冬でも薄着の人が多かったことでしょうか（笑）

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

留学生が多かったのでサポート面は充実していました。また、大学内で毎日のように何かしらのイベントが行われているので、多くの人と知り合うことができます。悪い点は、留学生が多い分、正規授業でも履修生のほとんどが留学生ということもあることです。

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンと変換プラグは必須です。また、体調を崩した時のために、日本で飲み慣れている常備薬を持っていくことをお勧めします。ですが、基本的にはほとんどのものが現地で手に入ります。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

4技能は全体的に向上したと感じています。その中でも、レポートを書くことが多かったためライティングは留学前と比べて洗練されたと思います。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

勇気を持って留学を決断してからも、留学前まで手続きで忙しかったり緊張や不安の連続です。現地に渡ってからも生活に慣れたり、同時進行で勉強もしないといけないですし、楽しいことばかりではありません。しかし、その経験を通して得ることは限りなく大きいですし、間違いなく人生において大切にしたい思い出になります。ですので、学生のうちにこのチャンスを掴んでほしいと感じています。

### Ⅳ. 将来の目標

進路に関してはまだ定かではありませんが、可能性を一つに絞らずに様々な方向性を持って吟味しながら今後の道を選んでいきたいと思います。

### Ⅴ. 写真



退寮前にフラットメイトと最後に撮った大切な思い出の写真です。



友達とパブでハロウィンパーティーをした時の写真です。サイダーを飲みながらマリオカートをして盛り上がりました（笑）



チリ人の友達と授業後に撮った写真です。今でも連絡を取り合っている大好きな友達です。



リーズから電車で約20分、ブロンテ姉妹が育った地として有名なハワースの写真です。この小さな村の周りには果てしなくムーアが広がっていました。また、その日の天候とも相まってどこことなく不穏な雰囲気だったのがまるで『嵐が丘』のようでゾクゾクしました。



この写真は現地の友達とリーズのクリスマスマーケットに行った時の写真です。初めて Crumble を食べたのですがとてもおいしくて虜になってしまいました。